



温度条件を付加した高加速度衝撃試験

温度条件(-70℃~+180℃)を付加した、高加速度の衝撃試験を行います。

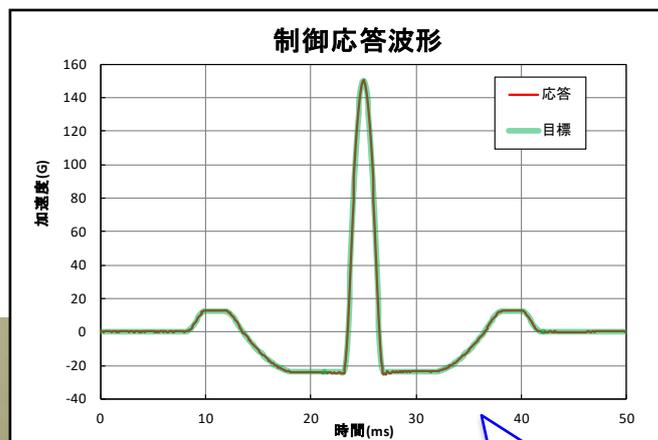
試験の概要

加速度150G以上、かつ、温度条件(-70℃~+180℃まで対応可)を付加した衝撃試験を実施できます。ハーフサイン波、三角波、のこぎり波など様々な波形種類にも対応しております。高加速度の衝撃試験を実現するためには、衝撃試験専用の治具が必要です。当社では、治具の設計、製作~受託試験まで承っておりますので、お気軽にご相談ください。

高加速度衝撃試験の一例

● 加振条件(例)

- ピーク加速度: 150G
- 作用時間: 3ms
- 波形種類: ハーフサイン波
- 加振方向: 上下、前後、左右
- 加振回数: 3回/方向
- 雰囲気温度: 100℃



※上下加振で、水平方向加振を
模擬する形になります

恒温恒湿チャンバー

加振方向

供試品+
衝撃試験専用治具

加振台

制御応答波形の一例
目標波形通りの衝撃試験が可能

衝撃試験時のセッティング状況(例)



JFE テクノリサーチ 株式会社

<https://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2021 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。